

就職者 内定体験記

1. 有限会社文化舎東毛 (農作業)
2. 有限会社浜中町酪農ヘルパー組合 (酪農専任ヘルパー)
3. 株式会社ネクスコメンテナンス関東 (総合)
4. 株式会社エイチワン前橋製作所 (技能職)
5. 株式会社フレッセイ (店舗での販売・製造)
6. 公務員 (海上自衛隊一般曹候補生)

1. 有限会社文化舎東毛 (農作業)

私は、有限会社文化舎東毛の農作業の仕事に内定をいただきました。私がこの進路を決めたのは、夏でした。私の進路決定が遅くなってしまったのは、雇用就農の求人がほとんどなかったからです。担任の先生と一緒にインターネットで求人を探し、この会社ともう一社職場体験に行き、決めました。

雇用就農の会社に就職をしたいと決めたのは、高校2年の1学期です。2年生になり、進路を農林大学校への進学がいいのか雇用就農がいいのかいろいろ考えました。私は農林大学校に行ってしまうと気が抜けて遊んでしまい、勉強に集中できないような気がしました。私には、将来自分で農業の会社を経営するための経験を積めるのは雇用就農のほうが合っていると思い、決めました。

職場体験をした二社のうちこの会社に決めたのは、あまり使われていない機械や道具を使っていて、これからの日本の農業を経験できると思ったからです。この会社での体験を後に応用できるのではないかと感じました。

高校で学んだ実績のおかげで、この職場体験と書類審査を経て内定をいただきました。それだけ信用してもらっていると思うので、その信用に応え、それ以上に頑張り、恩を返したいです。

2. 有限会社浜中町酪農ヘルパー組合 (酪農専任ヘルパー)

私は、北海道にある有限会社浜中町酪農ヘルパー組合に内定をいただきました。私には将来酪農で新規就農したいという夢があり、新農業人フェアに参加したことがきっかけです。そこで知った企業のうち、まず、2年の夏に別海町の酪農家で、次に3年になる前の春休みに浜中町酪農ヘルパー組合で体験実習を行いました。浜中町酪農ヘルパー組合は道内でも有数の新規就農者を輩出しており、体験に行ってみると会社の雰囲気もよく、とても気に入りました。酪農ヘルパーとは、酪農家が休む時に代わりに牛の世話などをする仕事で、いろいろな牧場で実際に体験でき、勉強できるという点がよかったです。また、この会社は休日

などの待遇もしっかりしているという点も参考にしました。

就職試験の内容は、社長や副社長との面接と、酪農についての作文を書くことでした。

私が高校時代に頑張ったことは、実習や授業で技術や知識を取得することです。現場では素早い判断と行動が求められるので、最低限の技術や知識は身に付けておこうと頑張りました。将来酪農で新規就農するという夢を叶えられるよう、来年からも頑張りたいです。

3. 株式会社ネクスコメンテナンス関東（総合）

私は株式会社ネクスコメンテナンス関東に内定をいただきました。私がこの会社に決めたのは3年の夏でした。1、2年の頃、私は将来について明確な目標はなく、とりあえず就職できればいいと思っていました。そんな中、親会社のネクスコ東日本の情報を知り、この会社に就職したいと思いました。担任に相談したところ、この会社は高卒をあまり採用しないし、求人票が来るかどうか分からない、と聞き、あきらめて公務員試験をめざすことにしました。ダラダラと勉強を続け、気がつくともう3年になっていました。

7月になり、学校で受け付けた求人票を見ていると、ネクスコ東日本のグループ会社の求人を見つけました。迷いましたがギリギリで一般就職に切り替え、夏休みには企業見学にも行きました。試験内容は適性検査、作文、面接でした。特に、一般常識と面接の練習をしました。過去に勢多農から受けた先輩がいなかったのが、就職試験についての情報が全くなく心配でしたが、他校からこの会社に行った先輩に聞くことができ、情報を得られました。

私は内定をいただくまでにたくさんの人に支えられてきました。自分が働きたいと思って見つけた会社で、これから何十年も仕事をしていくのは想像も付かないし不安しかないけれど、この会社で成長していくために頑張りたいと思います。

4. 株式会社エイチワン前橋製作所（技能職）

私は高校生になっても部活のことばかりで進路のことは全く考えたことがありませんでした。ようやく進路について考え始めたのは2年生の冬でした。部活で鍛えた体力や忍耐力を生かし、警察官を目指す決め、それからは、体力を落とさないように毎日部活に励み、部活が終わった後、学校に残って勉強にも取り組みました。警察官の採用試験は三次試験まで進みましたが、クリスマスに届いた結果は、残念なものでした。

クラスのほとんどが進路を決定している中、焦る気持ちを切り替え、1月からは就職に向けて活動を始めました。もうこの時期に就職の募集はないのではないかと諦めていましたが、先生からエイチワンがまだ募集していると伺い、受験を決めました。面接とSPI試験があるということでしたが、公務員試験に向け勉強をしていたこともあり、落ち着いて受験することができました。1週間後、内定の結果をもらい、やっとほっとすることができました。公務員を目指す人、それ以外の皆さんも、最後まで諦めず頑張ってください。

5. 株式会社フレッセイ（店舗での販売・製造）

私は株式会社フレッセイに内定をもらいました。私がこの進路を決めたのは高校3年生の5月頃でした。企業を選んだ理由は、昔から食品の販売や製造に興味があったからです。そのため求人票を見た際、フレッセイを見学してみたいと思いました。企業見学の際には、店舗の印象がとてもよく、店員さんも笑顔で明るく、とても好感を持ちました。そのため、フレッセイの就職試験を受けることに決めました。

私が内定を頂くために頑張ったことは、SPIの問題（一般常識）をできるようにすることと、面接の態度や受け答えの練習です。1回目の面接練習は少しできましたが、2回目では自分の準備不足が大きく目立ってしまいました。そのため、先生にお願いをして練習させていただきました。その結果、本番ではスムーズに話すことができ、企業側からもお褒めの言葉をいただきとてもうれしかったです。それ以上に、内定をいただくまでの過程で、多くの場面で支えてくれた先生や友達に感謝し、新しい環境でも笑顔を忘れずに頑張っていると思います。

6. 公務員(海上自衛隊一般曹候補生)

私は、海上自衛隊一般曹候補生として内定をいただきました。私がこの進路を目指し始めたのは、高校2年の夏休みの頃でした。きっかけは、海上自衛隊の兄から仕事の環境とやりがいの話を聞き魅力を感じたことと、体を動かすことが好きな私にとって理想的な仕事だと考えたからです。その後、体験航海で「おおなみ」と「はたかぜ」に乗り、自衛官の皆さんが実際に活動している姿を見て、感銘を受け、ぜひ自分も自衛官になりたいと決意しました。私が夢を実現するために努力したことは、過去問に取り組み、面接に向け情報収集をし、自分の考えをまとめることでした。無事内定をいただけたのは、熱心にご指導して下さった先生や広報官の方々、支えてくれた家族のおかげです。これからも自分らしさを生かし、任務に取り組みます。